CNCF 概要

CNCF Overview

Dan Kohn, エグゼクティブ・ディレクター, @dankohn1

プレゼンテーションはこちらからも参照できます:

https://github.com/cncf/presentations



クラウド・ネイティブ・コンピューティング・ファウンデーション

Cloud Native Computing Foundation

• Linux ファウンデーションの一部として 2015年12月に設立、非営利



kubernetes

オーケストレーション





























envoy

サービス

メッシュ





サンドボックス Sandbox

































プラチナ・メンバー:









































今日のLinuxファウンデーションは、Linuxをはるかに超える

Today the Linux Foundation is much more than Linux















ウェブ

インターネット全体を 暗号化する計画を 通して、世界的なプ ライバシーセキュリティ を支援。 ソフトウェア定義データ センタを迅速に改良す るために、ネットワーク 機能周辺のエコシステ ムを構築。 クラウド用のポータビリティ・レイヤを構築し業界標準 (デファクトスタンダード) の牽引と、全てのクラウドに 対するオーケストレーショ ン・レイヤを開発。 自動車産業用のインフォティンメント・プラットフォーム を構築し、装置のクラスタ と移動体通信システムを 拡張可能ようにする。 永続的で安全な帳簿を 構築し、費用効率が良く て分散散型のビジネス・ネットワークを簡単にする。

次世代のウェブ、モバイル、 サーバレス、IoTアプリケー ション用のアプリケーション 開発フレームワークを提供。













私たちは定期的にプロジェクトを追加しています。そのため、最新のプロジェクト一覧は tlfprojects.org をご覧ください



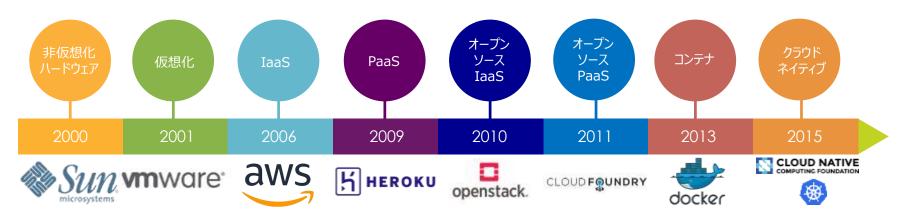
仮想化からクラウド・ネイティブへ

From Virtualization to Cloud Native





- クラウド・ネイティブ・コンピューティングはオープンソースのソフトウェアを積み重ね、次のために用います:
- アプリケーションをマイクロサービス(microservices)に分割し、
- 各パーツ自身をコンテナにパッケージし、
- リソース利用を最適化するために、動的に統合/オーケストレート(orchestrate)する





なぜプロジェクトをCNCFに参加すべきなのか

Why You Should Host Your Project at CNCF

- 中立的な場所により、貢献者を増やす
- CNCF技術監視委員会(TOC)の承認
- エンドユーザとサービス・プロバイダ・コミュニティとの業務連携
- 報道および専門分析家とのフルタイム 渉外チーム
- 年間何十万ドルでケース・スタディや その他のサポート・サービス等

- 中立的な立場を維持する限り、コミッタの 維持と各々のガバナンス(組織統制)を 定義。
- フルタイムのスタッフが支援を熱望
- 国際的レベルのイベント・チームが世界中で KubeCon + CloudNativeCon を 進行し、皆さんのプロジェクト向けのカスタム・イベントを開催
- 世界各地のミートアップグループ
- CIとスケールをテストするためのクラウド・ リソース



クラウド・ネイティブ トレイル・マップ。

Cloud Native Trail Map

トレイル・マップ: I.cncf.io



CLOUD NATIVE TRAIL MAP

The David Native Lorence of Little 1 NAV S Make represent of option's. This Clinical Width & York March & a separated an about processing The Browning Commission of About 188744 moreologies. At each step, you can divided a vento supported lifeling in this youtest. and environing after also 45 to software based. THE SECURIT PROPERTY AND ADDRESS OF

HELP ALONG THE WAY

A. Training and Certification

Couple issue, SWVgrkers OKN and that take the death is business as Cartified States when Australian Developer condita Nathring

B. Consulting Help

Hospital auditorial with holomothic and his commonly many than a break-Investigation a Katternature Developed per Carlotte

C. Join CNCFs End User Community

Far companies that best offer could Spine service services politica de la constantia del constantia de la constantia de la constantia della constantia della constantia

WHAT IS CLOUD NATIVE?

Charles the work and an translated and microsovives, temporal resentablished to receive and honey assessed Althorization and performance in Expension. of set in some province marks. By 144 mg into monant form standards a such sortwee mis designed to he stations status, and income coughed, via trian against colorina storia. retrieval or 64% traveling whething principles. return a complex. This object engineers by chow write-approximate and at safety make Projectiful changes, only insults in provenien. from assessments and investors for

The David factor Standard Novelation seeks to title exhalter of these boltoman Dy Stricke lead per strong-state out report can prov. white recital projects that also with these resolvers, and which are portable to public. private and habital places. He demonstrate the probability of patients and parties to enture instructions tempt (perform) minuments for property.

l.cncf.lo



1. CONTAINERIZATION

- Commonly does with Discour containing
- Any rice application and impercionalise bean POR-T1
- minimizers and setting full as functionally as recommons

3 ORCHESTRATION & APPLICATION DEFINITION









5. SERVICE MESH AND DISCOVERY







7. DISTRIBUTED DATABASE





9: CONTAINER RUNTIME







2 CI/CD

4. OBSERVABILITY & ANALYSIS















6. NETWORKING





8. MESSAGING

minage printed metalowers







10. SOFTWARE DISTRIBUTION

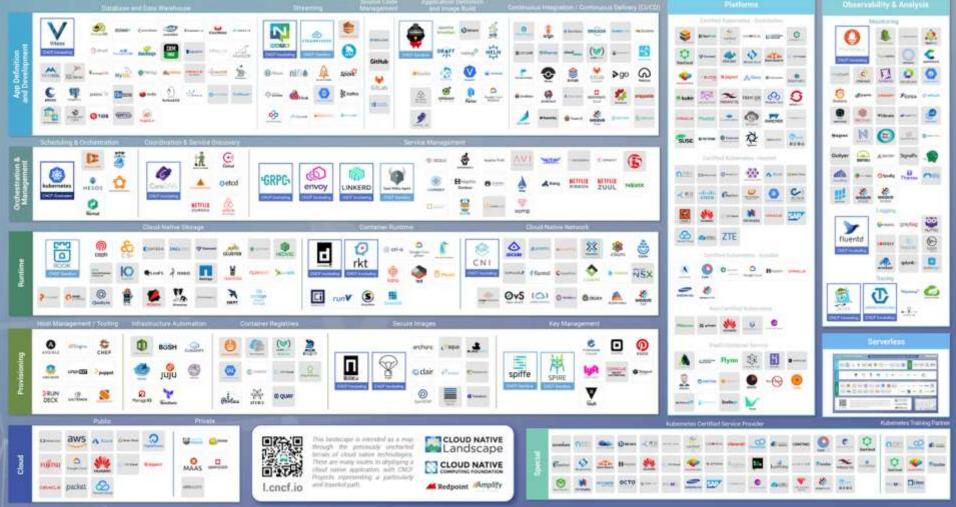
If you resid to do excuse notween durations.





Cloud Native Landscape

インタラクティブなランドスケープは l.cncf.io をご覧ください



CLOUD NATIVE Landscape

Stars (high to low)

Open Source, AGPL-3.0,...

No Grouping

Any CNCF Relation

Any.

CNCF Cloud Native Interactive Landscape



CNCF's Cloud Native Trail Map provides a good introduction. You can also view the static landscape and serveriess landscapes. Please open a pull request too correct any issues. Greyed logos are not open source. Last Updated: 2018-06-15 15:45:43Z

You are viewing 262 cards with a total of 1,112,813 stars, market cap of \$5.64T and funding of \$12.9B.

今すぐお試し

https://l.cncf.io

No Grouping (262)

kubernetes Kubernetes



Flastic

Elsedo

No Code

No Code









地北西岭 Cloud Native Computing



W 21 BH2



netdota 金20.074 heldsta

GitLab

GREab

CALWO

Redis Rods Late

eted

Red Hat.

str 20 8148

Funding \$45.5M

金29,042 Farming \$80M

etcd soork

·\$ 18,773

ARCser \$33.3B

Serveriess Sarverbess

金24.067 Furning: \$3M

sk: 17,600

Example filters:

Open source by age Landscape categories

Open source by stars

Offerings from China

Certified K8s/KCSP/KTP Sort by MCap/Funding

Download as CSV



December 11-13 Seattle, WA

CloudNativeCon



Grafana

東22,220

Grafana

Grostana Labra







RethinkDB

RethinkDB

Kong



東10,553
Funding: \$26.168



Traufin.	number:
Continous	Funding \$1.00k





Drone Deline is

Apache Spark

Apache Software

食.14,616













エンド・ユーザ・コミュニティは54社

54 Companies in the End User Community































Layer Morgan Stanley































































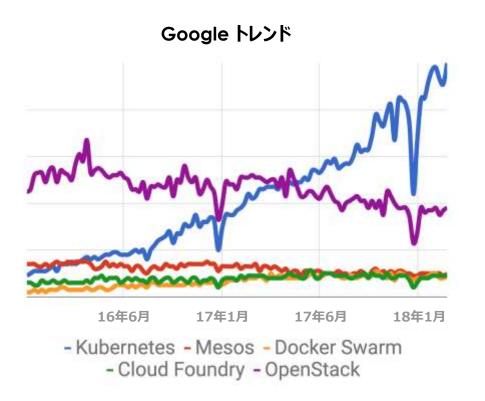




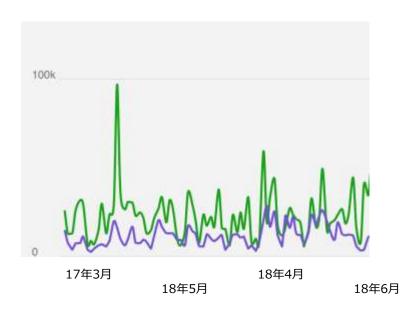


Kubernetesの検索トレンド

Kubernetes in Search Trends



WeChat

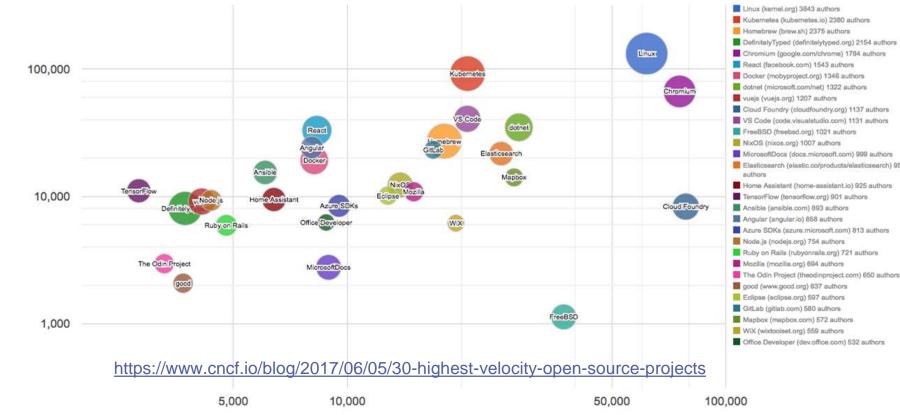


OpenStack Kubernetes



勢いのあるオープンソース・プロジェクト上位30

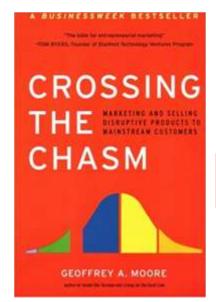
30 Highest Velocity Open Source Projects

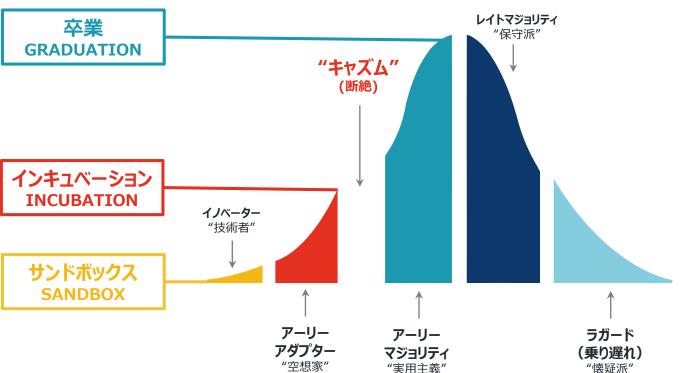




CNCF プロジェクトの成熟度

CNCF Project Maturities







CNCFにおけるサーバレス

Serverless in CNCF

サーバレスを分解

- サーバレス <u>ワーキング</u> グループは影響が大きい ホワイトペーパーを公開
- 開発者が好むのは閉じたサーバレス・プラットフォームという属性(既にコンテナとして実行):
 - 果てしないスケーラビリティ
 - 少額課金
 - 簡単なアプリの更新
 - イベント駆動アーキテクチャ
 - 運用担当不要(Zero server ops)
- ●複数のプロジェクトはこれらの要素を分解し、 Kubernetes上で機能として利用できるように

サーバレス・ランドスケープ & CloudEvents

サーバレス・ランドスケープ <u>s.cncf.io</u> で業界における 全てのプロジェクトとプロダクトを追跡



• <u>CloudEvents</u> は新しい CNCF プロジェクトです。 イベント・データのための共通モデルであり、プロバイダ 間でのイベントのやりとりを簡単にします。



CNCFの体制

CNCF Structure



- 大部分はベンター
- 組織に資金提供
- 9人の最上位テクニカル・アーキテクト
- 新規プロジェクトの承認
- マーケティングと戦略の指揮プロジェクトのリソースとして活動
- 技術を実際に使うエンドユーザ
- コミュニティの後押しが必要
- そして、良いあるいは悪い経験

240以上のメンバーに成長中

240+ Members and Growing

プラチナ・メンバー (Platinum Members)





















































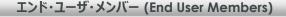








































学術·非営利

Academic/Nonprofit





















エンド・ユーザ・サポーター (End User Supporters)





























































240以上のメンバーに成長中(シルバー1)

240+ Members and Growing (Silver 1)













































































































































































240以上のメンバーに成長中(シルバー2)

240+ Members and Growing (Silver 2)









































































































































































Kubernetes適合認証

Certified Kubernetes Conformance

- CNCFはKubernetesに向けたソフトウェア適合認証を 提供開始
 - 適合試験を実施し、アップロード結果を提出
 - 適合認証に対する新しい Kubernetes トレードマーク をフレキシブルに使える
 - 対応している環境は K8s 1.9 および 1.10
 - https://www.cncf.io/certification/softwareconformance/



60の認定Kubernetesパートナー

60 Certified Kubernetes Partners







































































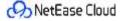






















































CNCF MOOCとオンライン・トレーニング

CNCF MOOC and Online Training

- 無料の <u>Introduction to Kubernetes</u> (Kubernetes導入)
 は自習型のコースであり、edxが提供
- <u>Kubernetes Fundamentals</u> (Kubernetes基礎) コース
 - 範囲は認定 Kubernetes 管理者 (CKA) 試験を扱う
 - \$299, 中級レベル
- オープンソースのカリキュラムや企業が提供するトレーニング
 - 大量ディスカウントによる CKA 試験クーポンが利用可能

Kubernetesオンライン監督試験

Online, Proctored Kubernetes Exams

- 認定Kubernetes管理者 (CKA)
 - 既に1,500以上が登録
 - https://www.cncf.io/certification/expert/cka/
- 認定Kubernetesアプリケーション開発者 (CKAD)
 - Kubernetesに対応したクラウド・ネイティブ・アプリケーションの設計、構築、 設定変更、公開が可能なユーザであるのを証明
 - https://www.cncf.io/certification/expert/cka/ckad/
- 両テストに対して
 - テストは3時間を超え、コマンドラインで解決するシナリオを含む そのために同時に受験できない
 - 各試験は\$300
 - 四半期ごとのK8sリリースにあわせ、試験を更新



Kubernetes認定サービスプロバイダ

Kubernetes Certified Service Provider

サービス・プロバイダになるのを検討する段階では、事前条件となるのはエンタープライズでKubernetesの採用に成功するのに役立つ深い経験を持っており、サポート、コンサルティング、プロフェッショナル・サービスやトレーニングを提供します。

利点

- https://kubernetes.io/partners/のトップに掲載
 クラウド・ネイティブのプロジェクト・リーダー達や、TOCメンバー、運営委員会の代表によって毎月開催のプライベートなミーティングに参加
- kubernetes.ioに対する、サポートを必要としているエンドユーザーのリードにアクセス

必要条件

- 3人以上の認定エンジニア
- Kubernetesのアクティブな貢献を含む、Kubernetesコミュニティに対する実績のある活動
- エンタープライズとエンド・ユーザに対するサポートのビジネスモデル

https://www.cncf.io/certification/kcsp/



51のKubernetes認定サービスプロバイダ

51 KCSP Partners











































































































KubeCon + CloudNativeCon

- 中国
 - 上海: 2018年11月14~15日
 - スポンサーシップ 開始
- 北アメリカ
 - シアトル: 2018年12月11~13日
 - スポンサーシップ 開始
- ヨーロッパ
 - バルセロナ: 2019年5月21~23日









North America 2018



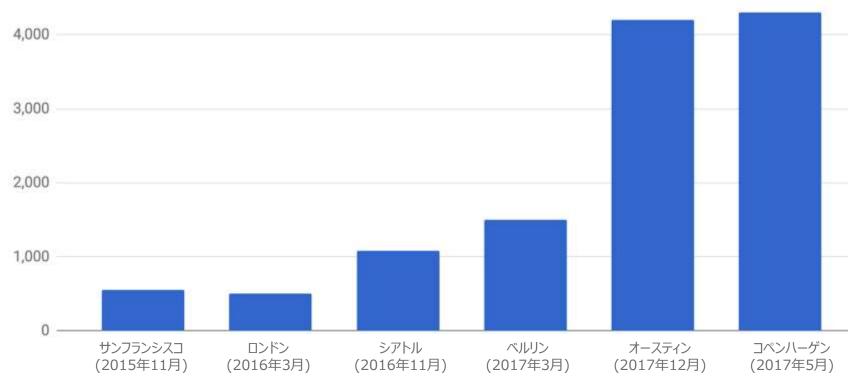


Europe 2019



KubeCon + CloudNativeCon 参加者

KubeCon + CloudNativeCon Attendees





CNCF加入

Joining the CNCF



CNCF会員の価値(1)

CNCF Membership Value (1)

業界のリーダーシップ

- クラウド・ネイティブ市場を形成
- CNCFの他のメンバーとのネットワーク
- CNCFイベントの参加と発表の機会
- •分科会(SIG)への参加と、CNCF技術監視委員会とエンド・ユーザー・コミュニティとの連携

マーケティング機会

- CNCFプレスとの連携、分析専門家との連携、ウェビナーやその他のマーケティングに対する取り組みや機会による利点
- •マーケティング委員会に皆さんの社員が携わる
- CNCF技術をベースとした皆さんプロダクトやアプリケーションを、重要な業界イベントやウェブサイト、マーケティングにおいて、主要なものとして扱うのを担保
- CNCFが提供するあらゆるイベントのスポンサー料金を 3%割り引き(複数イベントにコミットする場合は5%)
- 私たちが扱うプロジェクトへの参加と、イベントやミートアップ、ロードショウへの招待



CNCF会員の価値(2)

CNCF Membership Value (2)

技術リーダーシップ

- CNCF技術の方向性に関する貢献と影響のため
- 皆さんのビジネス課題に対する、将来の機能強化や拡張に対するリーダーシップを促進
- 必要なドキュメントと将来の技術ロードマップに対する 機能セットを案内できる能力

学びと機会

- •会員コミュニティーとの連携および共同作業により、皆さんのクラウド・ロードマップを拡張
- •会社の方向性と業界を横断しながら、一緒に取り組む
- マイクロサービス・アーキテクチャの一部として、オーケストレートされたコンテナのクラウド・ネイティブなプラットフォーム向けに、皆さんのアプリケーションとサービスを設計するために取り組む
- ●知識を活用してプロダクトを作成し、アプリケーションを 安全にすると、将来的に相互運用が可能となる
- CNCFアンバサダーとして働く資格



CNCF会員の利益と義務(1)

CNCF Membership Benefits and Dues (1)

プラチナ・メンバー(Platinum Members)

- •CNCF運営委員会に、代表者を1人指名
- あらゆる副委員会や運営委員会の活動において、 投票メンバーを1人指名
- ウェブサイトを含む最も目立つ場所に会員を表示
- Linux ファウンデーションの招待者のみに対する オープンソース・リーダーシップ・サミットへのアクセス
- •CNCF実行委員会の常任理事とスタッフを、継続して 個々に選任できる権利
- •毎年\$350,000の支払いを3年間コミットメント

ゴールド・メンバー(Gold Members)

- •CNCF運営委員会に、5つのゴールド・メンバーごとに 代表者を1人選出
- CNCF実行委員会の常任理事やスタッフになる 機会が増える
- •毎年\$100,000

シルバー・メンバー(Silver Members)

- CNCF運営委員会の代表者を、3 名選出
- •従業員数に応じて毎年\$2,000から\$30,000



CNCF会員の利益と義務(2)

CNCF Membership Benefits and Dues (2)

エンドユーザー・メンバーシップ (End User Membership)

- ●シルバーメンバーと同様の利益と義務だが、エンドユー ザー・コミュニティに参加できる機会を含む
- ●技術監視委員会(TOC)およびCNCFコミュニティに対する提言。TOCのメンバー1人に合う機会を含む
- KubeCon + CloudNativeCon に対する5つの チケット
- •エンドユーザー・コミュニティはTOCとCNCF開発コミュニティに対し、認識している隔たりに関する提案機会や、優先度を提案できる

Linuxファウンデーション (LF) メンバーシップ

- CNCFメンバーはLFに対するメンバーである必要があり、 年間\$5,000から\$20,000
- •Linux周辺の大きなオープンソース・コミュニティやLFの50 以上のプロジェクトと連携する機会の提供
- オープンソースのコンプライアンス、法的問題、技術の卓越性において、親ファウンデーションに請える
- オープンソース・リーダーシップ・サミットとリーガル・サミットのような限定イベントに参加できる



CNCF と LF を合算した費用

CNCF and LF Combined Dues

7	1	ナ		V	١,		I".	
			_			/		

Platinum Member

\$370,000

ゴールド・メンバー

Gold Member

\$120,000

シルバーまたはエンドユーザー・ メンバー

Silver or End User Member

\$50,000: 5,000 以上の従業員

\$45,000: 3,000 - 4,999

\$35,000: 1,000 - 2,999

\$25,000: 500 - 999

\$15,000: 100 - 499

\$10,000: 50 - 99

\$7,000: 従業員50人以下

学術か非営利

Academic or Non-Profit

\$500 非営利または \$1,000 学術

エンドユーザー・サポーター

End User Supporters

- CNCFのエンドユーザー・サポーター・プログラムはクラウド・ネイティブ・ エンドユーザーに機会が得られるのを追加
- クラウド・ネイティブ技術を顧客に対して提供していない企業に限定
- サポーターはメンバーではない
- プライベート・メーリングリストや Slack への参加機会や、他のクラウド・ ネイティブ・リーダー達と毎月定例電話会議への参加機会
 - 年間\$4,500 (KubeCon + CloudNativeCon NA または EU 向けのチケット5枚を提供)
 - 従業員300人以下は\$1,800で会社向けにチケット2枚



CNCFへの参加は簡単!

Joining the CNCF is easy!

今すぐご参加を: https://cncf.io/join

あるいは

全般的なお問い合わせ: <u>info@cncf.io</u>

PR: pr@cncf.io

イベントのスポンサーシップ: sponsor@cncf.io

メンバーシップ: memberships@cncf.io

付録

Appendix



クラウドの歴史的概説

A Brief History of the Cloud



非仮想化サーバ: Sun(2000)

Non-Virtualized Servers: Sun (2000)



- 新しいアプリケーションの立ち上げ? 新しいサーバを 買うか、ラック上にあるのを使いましょう!
- アプリケーションの構築単位は物理サーバ



2000





仮想化: VMWare (2001)

Virtualization: VMWare (2001)



- •2001年にサーバ市場に対してリリース
- ●仮想マシン(VM)を一般化
- 1 つの物理マシン上で多くの仮想マシンを実行する ので、購入するサーバ数が減少!
- アーキテクチャ上の構築ブロックは仮想マシンになり はじめる





laaS: AWS (2006)



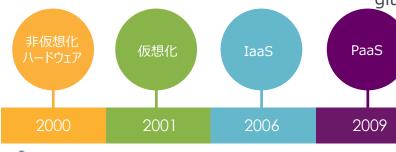
- Amazon Web Services (AWS) は2006年にエラスティック・コンピュート・クラウド(EC2)を提供開始し、サービスとしてのインフラ(Infrastructure-as-a-Service; IaaS)市場を作る
- •時間単位でサーバを借りる
- 設備投資から運用への投資に転換
- ●アーキテクチャ上の構築ブロックは、Amazon マシン・ イメージ(AMI)と呼ぶ仮想マシン



PaaS: Heroku (2009)



- Herokuは2009年に提供を開始し、サービスとしてのプラットフォーム(Platform-as-a-Service; PaaS)が一般化
- •構築ブロックは buildpack であり、コンテナ化した アプリケーション
- コンテナが構築するプロセスは不明瞭。しかし、:
- 新しいバージョンのアプリケーションをデプロイするのは、たったこれだけ: _git push heroku









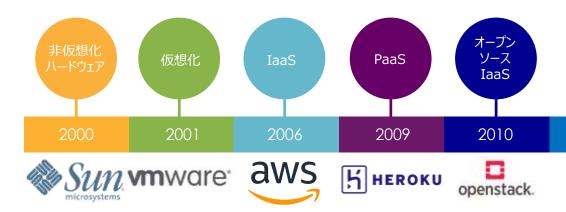


オープンソースIaaS: OpenStack (2010)

Open Source laas: OpenStack (2010)



- •OpenStack はオープンソースによるサービスとしてのインフラ (IaaS)を作成するため、様々なベンダーグループが大規模に協力
- AWS と VMWare の競合
- •構築単位は仮想マシンのまま



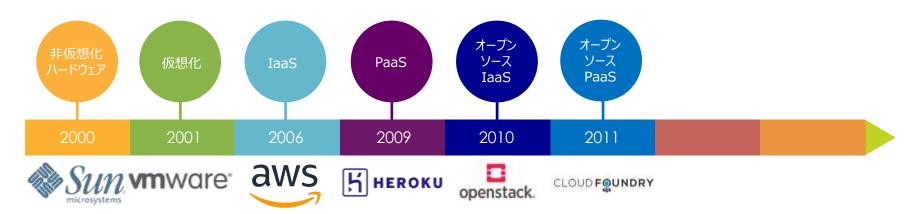


オープンソース PaaS: Cloud Foundry (2011)

Open Source PaaS: Cloud Foundry (2011)

CLOUD F QUNDRY

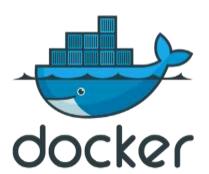
- PivotalはHerokuのPaaSを代替するオープンソースを構築し、2014年後半にCloud Foundryファウンデーションを設立
- 構築ブロックは Heroku の buildpack に相当する Garden コンテナであり、Docker コンテナや Linux 以 外の OS にも対応



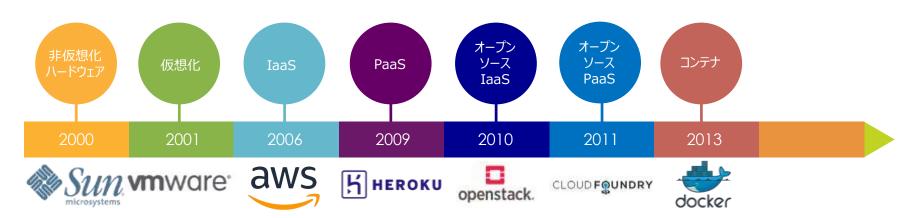


コンテナ: Docker (2013)

Containers: Docker (2013)



- DockerはLXC、ユニオン・ファイルシステム、cgroupを連携し、 世界中の数百万もの開発者に採用されるコンテナの標準を作成
- 開発者向けの技術としては、これまでになく早く起動
- 分離と再利用をできるようにし、不変性を保てる



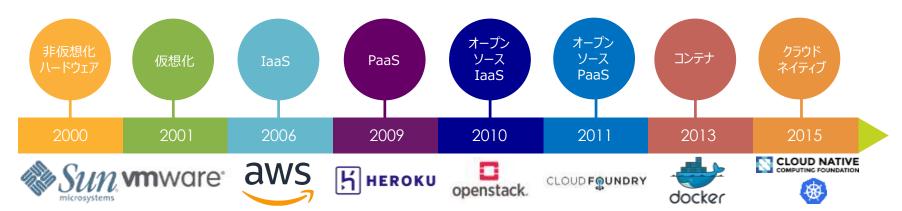
クラウド・ネイティブ: CNCF (2015)

Cloud Native: CNCF (2015)





- クラウド・ネイティブ・コンピューティングはオープンソースのソフトウェアを積み重ね、次のために用います:
 - アプリケーションをマイクロサービス(microservices)に分割し、
 - 各パーツ自身をコンテナにパッケージし、
 - リソース利用を最適化するために、動的に統合/オーケストレート(orchestrate)する





これまでに何を学んだのでしょうか?

What Have We Learned?

- 構築ブロックの中心:
 - サーバ → 仮想マシン → Buildpacks → コンテナ
- ・ 分割の単位
 - 重いモノから軽量にすると、起動時間の短縮やサイズを小さくする
- 不変性(Immutability)
 - ペットから家畜へ
- プロバイダ
 - ソースの非公開から、単一ベンダーやベンダー間共通のオープンソース化



PaaSはいかがでしょうか?

What About PaaS?

- OpenShift、Huawei CCE、Deis、Apprendaはクラド・ネイティブ・プラットフォーム上に構築されたPaaSの例
- 多くの新しいアプリケーションは PaaS 上に 12-factor apps として利用可能になり始めている
 - 時折 PaaS よりも大きくなる
 - そして、アプリケーションによっては PaaS モデルに決して一致しない
- クラウド・ネイティブがサポートするのは、PaaSとその上の両方



クラウド・ネイティブの価値ある提案

Cloud Native Value Propositions



ベンダー・ロックインを避ける

Avoid Vendor Lock-in



オープンソースのソフトウェアの積み重ねで、 あらゆるパブリック、プライベート、ハイブリッドクラウドヘデプロイ



無制限のスケーラビリティを可能に

Enable Unlimited Scalability



素早さと保守性の向上

Increase Agility and Maintainability



依存関係を明示的に記載しながら アプリケーションをマイクロサービスに分割する

回復力を得る

Achieve Resiliency



個々のコンテナ、マシン、データセンターですら障害が起こっても、 必要に応じた様々なレベルに対応



効率性とリソース利用の改善

Improve Efficiency and Resource Utilization



どうかDan Kohnをフォローください

Please follow up with Dan Kohn

dan@linuxfoundation.org, @dankohn1 on Twitter

このプレゼンテーションは、こちらからも入手できます:

https://github.com/cncf/presentations

